

読書感想文を書くじゅんびをしよう!

(高学年向けですが、
できそうな人は使ってみよう)

組み立てメモ

年 組 名前

【題名】	【はじめ】 ・主に感じたり、 考えたりしたこと	【なか】 ・本と自分との結びつき (本の内容を書くのではなく、自分のことを書く) (「感想を表す言葉」を明確に)	【おわり】 ・自分をふり返って 考えたこと
<p>構成</p> <p>感想文(キーワード、中心となる考え、体験、理由)</p>			
<p>工夫点</p> <p>感想の中心を題名 ※最後に考える テーマを題名 登場人物に語りかける題名 など</p> <p>初めの感想 ○書き出し 中心となる感想語い 会話文から 感動の中心 引用から 読みのきっかけ 中心となる 作品の大体の説明 感想語いから 作品全体の評価 きっかけから 心に残った文の「引用」 本を読んだの気持ちの変化 ・「〜」と思うようになりました</p>	<p>使う感想語いをハッキリさせる ・うれしいではなく「読みながらほくも思 わずガッツポーズをしました」。 ・「すこいではなく「心がふるえた」 ・「すこいではなく「あつとつされた」等 自分の考えとその理由 ○感動 ○発見 ○共感</p> <p>読書経験と実体験の結びつき 自分の体験</p> <p>『本と対話したことを書く』 ・「この本で起こったこととにたような 出来事はあったかな?」 ・「登場人物は、なぜこのような行動を したのかな?」 ・「登場人物と自分と比べて、 にている所やちがう所は?」 ・「作品を読んで、『くしてみたい』と 思ったことは?」 ・「この本は、どのようなことを 伝えているのだろうか?」 ・「同じ作者や、同じテーマの本を 読んだことはある?」 ・「身近な現実と、どのように つながるかな?」</p>	<p>本を読んで強く感じたこと 作者が伝えたかったこと 生活へのつながり 自分との重なり、自分の中の変化 これからの自分の目標や希望 ○書き出しと結びを対応させるとグッド ○印象に残る終わり方 ・決意で終わる ・体言止めで終わる ・印象に残った言葉(引用)で終わる ・情景で終わる ・登場人物への語りかけで終わる</p>	

★こまった人は… ⇒ 「一番心にのこった所はどこか」を決める。 → それはどうしてなのか、理由をほり下げて考えてみる (自分の体験と比べて…)